

経営改善計画書(令和5年度～令和7年度)

団体名	一般財団法人鳥取市農業公社
-----	---------------

様式2

現状と課題	委託施設「鳥取市新規就農者技術習得支援施設」のとっとりふるさと就農舎の研修生の確保の課題 公益目的支出計画の課題。
経営方針 (令和7年度目標)	委託管理施設「鳥取市新規就農者技術習得支援施設」の受託体制の強化、組織体制の充実。関係機関と一体となり農業体験者の確保に努める。 また、公社運営については経営改善に努め黒字経営を目指す。

視点	7年度目標 (期間内の 最終目標)	年度	実行計画		実績		分析、評価コメント (経営改善効果)	市担当課コメント	
			取組内容	目標値	取組状況	実績値			
経営 改革 <small>(財務面での長期見直し)</small>		5年度	事業の拡大、経営改善に努める	経営黒字	経費の削減、事業の効率化	経営黒字	事業効率化を図り財務の改善に努めた結果黒字となった		
		6年度	事業の拡大、経営改善に努める	経営黒字					今後も事業の効率化に努め、健全経営を継続していただきたい。
		7年度	事業の拡大、経営改善に努める	経営黒字					
組織 改革 <small>(組織見直し、人材育成)</small>		5年度	業務体制の確立。 研修会等に参加し知識の向上に努める。	役員による会議の開催 研修会等の参加	役員による全体会の開催 各研修会への参加	年3回開催 年4回参加	役員員の意思統一を図った 研修会の参加により技術の向上を図った	引き続き組織体制の充実と職員技術向上を図っていただきたい。	
		6年度	業務体制の確立。 研修会等に参加し知識の向上に努める。	役員による会議の開催 研修会等の参加					
		7年度	業務体制の確立。 研修会等に参加し知識の向上に努める。	役員による会議の開催 研修会等の参加					
公益 増進 <small>(顧客サービスの向上、社会貢献)</small>		5年度	とっとりふるさと就農舎農業体験者の受け入れ。 小学校以上を対象としたアグリスクール(農業教室)の開校。内容の見直し。 農地中間管機構からの業務委託により、耕作放棄地の解消。	関係機関との連携	小学校以上を対象としたアグリスクールの開校 農地中間管機構からの業務委託により、耕作放棄地の解消。	年8回開校 260人参加	農業への興味、関心を深めた 耕作放棄地の解消につながった	アグリスクールの参加者がより農業に興味を持ってもらえるよう、事業内容の充実を図っていただきたい。 農地中間管理事業について、担当地域への積極的なPRやマッチングを行うなど、耕作放棄地の解消はもとより、未然防止に資する取り組みとなるよう、引き続き努めていただきたい。	
		6年度	とっとりふるさと就農舎農業体験者の受け入れ。 小学校以上を対象としたアグリスクール(農業教室)の開校。 農地中間管機構からの業務委託により、耕作放棄地の解消。	関係機関との連携					
		7年度	とっとりふるさと就農舎農業体験者の受け入れ。 小学校以上を対象としたアグリスクール(農業教室)の開校。 農地中間管機構からの業務委託により、耕作放棄地の解消。	関係機関との連携					